

神戸学院大学—神戸海洋博物館展示

神戸開港 150年を振り返って

神戸開港150年を記念し、今回は神戸開港から阪神・淡路大震災前までの姿や歴史を、図録や当時の資料を中心にご紹介します。



2017年4月1日(土)～9月9日(土)

展示期間中の開館時間・休館日

期間	平日	土曜	日曜・祝日
5/1～6/30	9:00～21:00		9:00～17:00
7/1～8/8	8:45～21:00		
8/9～9/15 ※8/10～8/21は休館	9:00～18:00	9:00～17:00	休館

※開館時間や開催時期は変更になることがあります。図書館HP・掲示板にてご確認のうえご来館ください。

神戸開港の歴史年表

—兵庫開港から阪神・淡路大震災前の神戸港—

- 1867年 江戸幕府は慶応3年5月24日、兵庫開港を布告。
- 1868年 慶応3年12月7日、「兵庫」の名のもとに開港。
兵庫運上所で開港式挙行。
- 1873年 神戸運上所を「神戸税関」に改称する。
- 1878年 小野浜にイギリス人キルビィにより造船所が設立され、
日本最初の鉄製汽船が建造される。
- 1881年 川崎正蔵、川崎兵庫造船所を開設。
- 1893年 日本郵船、神戸～ボンベイ(ムンバイの旧名)間、我が国初の
遠洋定期航路開設。
- 1896年 日本郵船、3月に欧州定期航路開設、
兵庫運河起工。1899年(明治32年竣工)
- 1898年 神戸開港30年記念式典開催。
- 1903年 明治天皇をお迎えし、神戸沖で大観艦式。
- 1905年 神戸三菱造船所創設(登記)。
鈴木商店が小林製鋼所を買収し「神戸製鋼所」として経営する。
- 1908年 ブラジル移民第1船「笠戸丸」、移住者を乗せて神戸港を出港。
- 1923年 関東大震災発生。
鉄道不通のため、神戸港が救援物資輸送基地となる。
- 1928年 兵庫運河の高松橋(我が国最大の一葉式跳躍橋)完成。
- 1930年 「海港博覧会」開催。
- 1933年 兵庫突堤完成式典、第1回みなとの祭挙行。
- 1936年 「神戸博覧会」を湊川公園で開催。
神戸港の入港船舶総数31,271隻、開港以来の記録達成。
10月29日、昭和天皇をお迎えし、大演習観艦式を、
阪神沖で開催。艦艇100隻、航空機約100機参加。
- 1941年 第1回「海の記念日」式典開催。
- 1945年 3月、6月神戸大空襲
- 1950年 神戸博覧会開催。主会場は王子公園、第2会場は湊川公園。
- 1951年 神戸市が神戸港の港湾管理者となる。
神戸港、特定重要港湾に指定される。
- 1952年 欧州航路再開。
- 1954年 大型客船「CARONIA」が世界一周航海で神戸港初入港。
昭和天皇と皇后の両陛下が神戸港ご視察。
- 1955年 南氷洋捕鯨母船「図南丸」初入港。



旧神戸税関庁舎

この建物は1873年(明治6)12月に落成し、翌年1月2日に開庁された神戸税関の建物で、現在の神戸地方合同庁舎(海岸通り29)の位置にあった。最初は兵庫開港と同時にこの場所に税関の前身である「運上所」が幕府によって建設されたが、その後兵庫県の所管になり、さらに大蔵省に移され、1873年(明治6)1月4日に「神戸税関」と改称された。



1890年頃(明治中期)のメリケン波止場



1910年(明治43)の神戸三菱造船所



1923年(大正12)頃の第1突堤(現第4突堤)

当時は第1突堤と呼ばれ、南側先端部には、現在ハーバーランド高浜岸壁にある信号所があった。

- 1963年 神戸ポートタワー完成。
- 1966年 ポートアイランド造成に着手。
摩耶大橋開通。
- 1967年 神戸開港100年記念式典開催。
神戸港はシアトル港(アメリカ)と、ロッテルダム港
(オランダ)と姉妹港提携を結ぶ。

姉妹港提携とは、港の管理者同志が有機的に結びつくことによって、両港相互の繁栄を推進し、国際貿易の発展に寄与することを目的とする。
参考:『祝賀式 神戸開港百年祭』神戸開港百年祭協会(1967)

- 1970年 神戸大橋開通、神戸ポートターミナル完成。
- 1975年 イギリスの大型客船「QUEEN ELIZABETH 2」初入港。
- 1977年 神戸開港110年。
- 1980年 天津港(中国)と友好港提携。
- 1981年 ポートライナー開業。
「神戸ポートアイランド博覧会(ポートピア'81)」開幕。
- 1983年 メリケンパーク着工。
- 1986年 明石海峡大橋起工式挙行。
- 1987年 イギリスの大型客船「ROYAL PRINCESS」初入港。
神戸開港120年祭開幕。
- 1988年 南極観測船初代「しらせ」が初入港。
- 1993年 アーバンリゾートフェア神戸'93開幕。
「KOBESHIPPALEAD」開催。
夜間入港規制撤廃。24時間入港可能になる。
- 1994年 K-ACT、K-CAT、神戸マリンルート開業。

神戸港の特徴

神戸港は、傍示川口右岸突端の北緯34度43分08秒、東経135度18分12秒から175度9,000mの地点まで引いた線、同地点から300度12分31秒、5,400mの地点まで引いた線、同地点から堺川口左岸の北緯34度38分04秒、東経135度05分33秒まで引いた線及び陸岸により囲まれた海面と運河水面、各河川の下流水面である。北に六甲山地の山がせまる地形のため、大型船の泊地として十分な水深がある。東南に防波堤をつくり、穏やかで最適な港を形成している。緑豊かな風光明媚な景勝地に在るので、航海後の船員や旅客に安らぎを与えてくれる。



中突堤船客待合所とポートタワー

中突堤を瀬戸内海の観光基地とするため昭和から内航施設の整備が計画され、1961年(昭和37)には近代的な中突堤中央船客待合所が建設された。1963年(昭和38)撮影



ポートターミナルと神戸大橋

国際貿易港「神戸港」にふさわしい外国観光船の受け入れ施設として、東洋一の規模と設備をもつ旅客線施設「神戸ポートターミナル」が建設された。1968年(昭和43年)から着手し、1970年(昭和45年)4月に完成。1969年(昭和44)撮影



ポートアイランド

急増する港湾貨物とコンテナリゼーションに対処するため、1966年(昭和41)から神戸港沖に建設を進めたもので、世界港湾史上に類をみない大海港湾都市の建設計画。1981年(昭和56)に完成。1970年(昭和45)撮影

図版ギャラリー



開港当初の兵庫の津 絵図

兵庫の市街を取り囲むように外廊として溝梁が張りめぐらされ、市内へ通じる西国街道の西口である西柳原と東口の湊町に総門が設けられていた。



1924年(大正13年)頃の 兵庫運河回転橋「高松橋」

1899年(明治32年)12月に兵庫運河が竣工し、船舶を通すために回転橋が設けられた。

展示風景

昔の神戸港や街並みなどの図版、写真、図書、開港100年や120年当時の記念グッズ等を展示しております。
神戸の発展と歴史を感じることが出来る資料展となっております。



参考資料

- 『神戸開港 100 年の歩み』
神戸開港 100 年祭協会著, 1967
- 『神戸開港 120 年祭』
神戸開港 120 年祭実行委員会 神戸市広報課著, 1986
- 『振り返って 130 年 神戸開港 130 年記念展』
神戸海洋博物館編, 1997
- 『神戸港 140 年のあゆみ (神戸港関連歴史略年表)』
(社) 神戸港振興協会, 神戸海洋博物館著, 2007
- 『神戸港 管理者 20 年の歩み』
編集・発行 神戸市港湾局, 1971.5.15

編集後記

神戸港は、1867年(慶応3年)徳川幕府が兵庫開港を布告して、今年で150年を迎えました。神戸港は大型船が碇泊できる地理的条件に恵まれた港として、風光明媚で異国情緒漂う港町神戸を背景に、町と共に発展してまいりました。SeaScapeでは、そんな神戸港の歴史を、幕末から昭和までを中心に写真をまじえて紹介しております。早くから海外に開かれた神戸港の魅力を再確認して、興味と理解を深めていただければ幸いです。

ポニーアイ図書館
入口ゲート前です。
ご自由にご覧下さい。

SeaScape

第22号 2017年6月発行

発行・編集 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館

〒650-8586 神戸市中央区港島1丁目1番3

